

くめじま

議会だより

2013.12.1

No.46



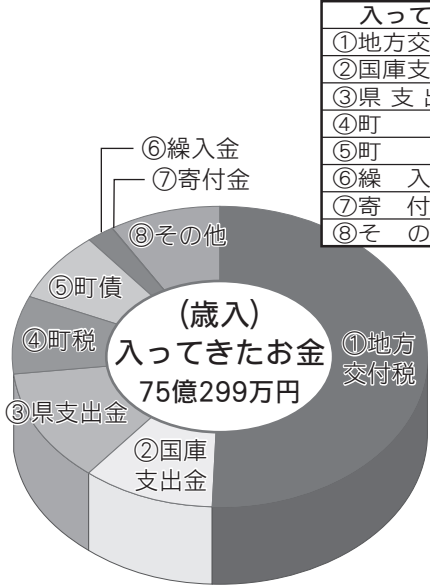
ハロウィンの仮装をした中央保育所の園児たち

9月定例会

平成24年度決算審査	2
9月定例会で決まったこと	4
意見書 採択	5
町政を問う 一般質問	6
議会のうごき	12

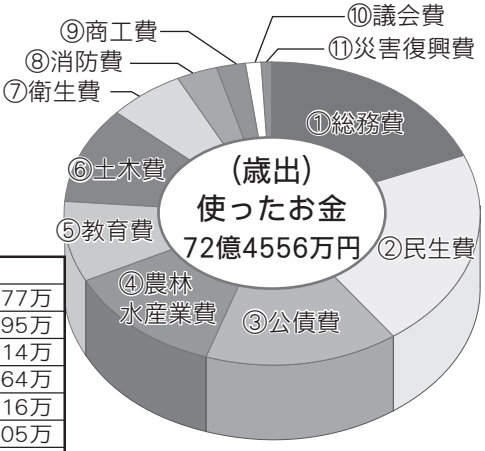
24年度
一般会計

72億の成果を認定!



① 地方交付税	37億9563万
② 国庫支出金	7億7307万
③ 県支出金	9億1985万
④ 町税	6億2920万
⑤ 町債	5億7204万
⑥ 繰入金	1億5990万
⑦ 寄付金	268万
⑧ その他	6億5060万

① 総務費	13億5777万
② 民生費	15億4495万
③ 公債費	10億9114万
④ 農林水産業費	9億0764万
⑤ 教育費	6億2316万
⑥ 土木費	7億4805万
⑦ 衛生費	4億3013万
⑧ 消防費	2億3159万
⑨ 商工費	1億6268万
⑩ 議会費	8742万
⑪ 災害復興費	6096万



町民1人あたり
1年間で
使われた金額
()内は前年度比

● 総務費
16万2064円
(-6万0098円)

● 民生費
18万4407円
(+3536円)

● 公債費
13万0240円
(-1万3467円)

● 農林水産業費
10万8337円
(+2万1737円)

● 教育費
7万4381円
(+5505円)

● 土木費
8万9288円
(+1万2934円)

● 衛生費
5万1341円
(+2705円)

● 消防費
2万7644円
(-705円)

● 商工費
1万9418円
(-2249円)

● 議会費
1万0435円
(-855円)

● 災害復興費
7277円
(+5906円)

平成24年度 特別会計決算

(単位: 千円以下切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	結果	
国民健康保険特別会計	13億0512万	12億5904万	全員養成	
後期高齢者医療特別会計	7121万	6990万		
下水道事業会計	3億2579万	3億1856万		
水道事業特別会計				
水道事業特別会計	収益的収支	2億1344万円	1億9301万円	
水道事業特別会計	資本的収支	1億0609万円	1億6551万円	

※水道事業特別会計の資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資本金で補てん

決算審査報告

一般会計

問 町まつりて実施した大綱曳きの評価と、今後どのように取り組んでいくのか。

答 町民全体で一つの「まつり」を作り上げ、盛り上がり非常に良かったと思う。何年間隔で大綱曳きを実施できるか、あるいは、実施するかは、広く意見を聞いて決めて行きたい。

問 育英基金の運用状況で償還額より貸付額が2倍となっているが、滞納額と回収方法は。

答 猶予手続きをしていない滞納額が14888万3千円、家

庭訪問で回収率が向上し、今年度に入って償還額が貸付額を上回っている。

問 教員配置において臨任の割合が差別的と思われるほど高いが、来年に向けての取り組みは。

答 県の担当者と一緒に調整しているが、近く、人事の説明会が開催されるので、その場においても人事について要望していく。

問 教育の最大の課題は、学力向上だと思つが、教育委員会として、どのような取り組みをしたのか。

答 小学生、中学生を対象にユイマー

ル塾を開催し、個別指導を行っている。また、教員の指導力アップを目的とした研修を開催したり、中学校、高校

問 保育所運営において保育士の採用形態は、正職員7割以上が好ましいと聞いているが、町の指定管理した保育所の実態は。

答 現時点で園長を含め3名が正職員で、県から6割ぐらいは正職員が望ましいとの意見があり、町もそのように指導していく。

問 水道事業会計

答 7月26日から断水したが、水確保を含めた対策が遅かったのではないかと。遅かったかもしれない。農業用水からの分水の調整や地形の高低差などがネックとなつて良い方法が見つからなかった。

特別会計

問 7月26日から断水したが、水確保を含めた対策が遅かったのではないかと。

答 遅かったかもしれない。農業用水からの分水の調整や地形の高低差などがネックとなつて良い方法が見つからなかった。

問 下水道事業会計

答 今年度の接続率は58・3%で、真謝地区が加わつたことから接続率は逆に落ちてきている。

問 接続率を上げるためにどのような取り組みをしているのか。

答 FM放送で接続推進をやっているが、接続率アップにつながっていない。今年から他の課とも連携を取り推進していく。

国民健康保険会計

問 交通事故に起因する治療費は、医療費ではなく自己負担になる制度はまだ残っているか。

答 第三者請求行為として制度は残っている。

決算審査は、議長を除く13人の委員（議員）で構成された特別委員会を設置し、9月11日（水）、12日（木）の2日間にわたって審議しました。審査の中から主な質疑内容を報告します。

基金残高	
基金名	残高
財政調整基金	11億0627万円
地域振興基金	10億4631万円
減債基金	5820万円
地域福祉基金	5494万円
土地開発基金	1億8092万円
中山間ふるさと基金	1867万円
庁舎等新改築基金	2億1053万円
国保基金	2394万円
環境保全基金	91万円
ふるさと納税基金	934万円
地域雇用創出基金	4902万円
妊婦等支援基金	0円
前村人材育成基金	2億0001万円
合計	29億5912万円

千円未満切り捨てのため、合計額が一致しない場合があります。

平成25年9月（第6回）定例会は、9月10日から25日までの16日間の日程で行われました。

定例会では、平成24年度の決算をはじめ議案10件、認定5件、報告3件、諮問1件、発議3件を審議し、すべて原案どおり可決・採択しました。10日の一般質問では6人が登壇し、活発な審議が行われました。

9月定例会で 決まったこと

平成24年度決算 全員賛成で認定

- 一般会計決算
 - 国民健康保険特別会計決算
 - 後期高齢者医療特別会計決算
 - 下水道事業特別会計
 - 水道事業会計
- 詳しい内容を2～3ページに掲載

平成25年度補正予算 全員賛成

- 一般会計補正予算（第3号）
79億4166万円（52181万円増）
- 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
12億8564万円（3925万円増）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
7296万円（130万円増）
- 下水道事業特別会計補正予算（第2号）
4億2517万円（3151万円増）
- 水道事業特別会計補正予算（第1号）

条例の改正 全員賛成

- 久米島町と畜場条例の一部を改正する条例
使用料等の規定中に、豚の解体料が定められていないため解体料金を定める

● 沖縄県離島医療組合規約の一部変更

これまで県の会計管理者をもって充てていたが、事務所が町内に移転したことに伴い、会計管理者を実地に指導監督できる体制にする必要があるため規約の一部を変更する

報告

- 平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- 平成23年度決算に基づく健全化判断比率の修正報告
- 平成24年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告

諮問

- 人権擁護委員候補者の推薦
山城京子氏

議員提出 全員賛成

- 米軍ヘリHH60ヘリコプター墜落事故に関する意見書
- 県内へのMV22オスプレイ追加配備及びF22ラプター暫定配備期間延長に関する意見書
(全文を5ページへ掲載)
- 議員定数調査特別委員会設置に関する決議

第7回臨時会で 決まったこと

会期：平成25年10月21日

平成25年度補正予算 全員賛成

- 一般会計補正予算（第4号）
79億7409万円（3242万円増）

請負契約 全員賛成

- 鳥島漁港波除堤整備工事
 - ◎ 契約の方法 指名競争入札
 - ◎ 契約の金額 2億4517万円
 - ◎ 契約の相手 株式会社 丸吉組
- 銭田橋改修工事（H25-1）
 - ◎ 契約の方法 指名競争入札
 - ◎ 契約の金額 1億1970万円
 - ◎ 契約の相手 国洋建設株式会社

米軍HH60救難用ヘリコプター墜落事故 に関する意見書

8月5日午後4時ごろ、米軍キャンプ・ハンセン訓練場内で、嘉手納基地所属の米軍HH60救難用ヘリコプター1機が墜落炎上する事故が発生した。日米両政府がMV22オスプレイの追加配備を強行しようとしていることに対し、県民挙げて強い反対運動を行っているさなかのことである。

墜落現場は、宜野座村内の住宅地から北西約2キロ離れた大川ダムの北端で、東側約1キロには沖縄自動車道が走っており、付近の松田区には保育所、幼稚園、小学校もあり、一歩間違えば住民を巻き込む大惨事を引き起こしかねないものであり、県民に大きな不安と恐怖を与えている。

墜落したHH60救難用ヘリコプターについては、これまでトラブルによる緊急着陸を起こしており、復帰後の米軍機の墜落事故は、県が把握しただけで昨年末までに43件に上り、今年5月の沖縄本島東の米軍訓練海域上でのF15戦闘機の墜落事故や、今回の事故を含めると復帰後45件の墜落事故が発生しており、1年に1回以上墜落事故を起こしていることになる。

本県では、これまで相次いで発生した戦闘機やその他の航空機による墜落事故等に対し、県議会をはじめ、本町議会等関係機関が日米両政府に事故の原因究明と、再発防止や航空機の安全管理の徹底等の申し入れを行っているにもかかわらず、墜落事故がまた発生したことは誠に遺憾である。

よって、本町議会は、町民・県民の生命、財産を守る立場から、今回の事故に対し断固抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1 事故原因を徹底的に究明し、その結果を速やかに公表を行うこと。
- 2 事故原因の究明、安全対策及び再発防止策が講じられるまでの間、県内における米軍HH60救難用ヘリコプターの飛行を中止すること。
- 3 機体の整備・保守点検体制を徹底的に見直して機体の安全管理と事故の再発防止に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月25日

沖縄県久米島町議会

あて先

- ◎内閣総理大臣 ◎外務大臣
- ◎防衛大臣 ◎沖縄及び北方対策担当大臣
- ◎沖縄防衛局長

県内へのMV22オスプレイ追加配備及び F22ラプター暫定配備期間延長に関する意見書

オスプレイの県内配備については、その安全性に対する大きな疑念から本町議会を始め、県内41市町村議会の全てにおいてオスプレイ配備に抗議する決議が可決され、昨年9月9日には「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」が開催され、オスプレイ配備計画の即時撤回と普天間飛行場の閉鎖、撤去を求める決議が採択された。

それにもかかわらず、日米両政府は、同年9月19日の日米合同委員会において「安全確保策」を正式合意し、安全宣言を発表して、同年10月1日に普天間飛行場にオスプレイ12機を強行配備した。

しかし、同安全宣言は、「できる限り」、「可能な限り」などの米軍の恣意的運用を可能にする条件つきのものとなっており、オスプレイ配備後に沖縄県が飛行合意違反と指摘した318件について、防衛省は7月30日、「日米合意に違反する飛行の確認は得られていない」との検証結果を公表し、米軍が合意に基づき飛行していると繰り返し述べている。

このような状況下において、ラプター12機の暫定配備期間を延長した上に、さらにオスプレイ12機を追加配備することは、県民の思いを踏みにじる暴挙である。

現在、県民の騒音・環境問題等に対する怒りと不安、墜落への恐怖は払拭されておらず、余りにも県民の声を無視し続ける両政府の対応は、言語道断で到底容認できるものではない。

よって、本町議会は、町民・県民の生命、安全及び生活環境を守る立場から、県内へのオスプレイ追加配備及び常駐化につながるラプター暫定配備期間延長に強く抗議するとともに、普天間飛行場の固定化に強く反対し、オスプレイ及びラプター全機の撤収と普天間飛行場の閉鎖・撤去を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月25日

沖縄県久米島町議会

あて先

- ◎内閣総理大臣 ◎外務大臣
- ◎防衛大臣 ◎沖縄及び北方対策担当大臣
- ◎沖縄防衛局長

問 仲里総合グラウンドの整備は

答 整備計画はない

幸地 仲里総合グラウンドのシヨギングコース、照明施設の整備、B & G 体育館改修後の利用は。

町長

シヨギングコースについて、現在外周の整備計画はない。体に負担の少ない



幸地 猛 議員



仲里総合グラウンド

外周の芝の管理を行う。照明施設は整備できる補助事業があつたら計画していく。B & G 体育館は、10月に屋内の改修工事が完成するので、その後は町民も利用できる。

問 阿嘉のひげ水の整備を

答 現状を詳しく調査する

幸地 阿嘉のひげ水については、現在雨も降らない状態なので吹き上がっていない。水が流れない状態がずっと続いてしまふんじゃないかと心配である。水量を確保して年中吹き上げが見られる状態にしてほしいと思うが。

町長 阿嘉のひげ水の現状を調査して可能かどうか検討する。

仲村渠産業振興課長

現場を見た限りではその部分の流水域に水を流すというのは難しい感じがするが、地元の古の方々に以前の状況はどう

だったかを確認して、再度詳しく現場を調査したい。



阿嘉のひげ水



島袋完英 議員

問 下水道の接続

答 FM久米島を活用し接続の啓蒙を

島袋 イーフ地区、仲泊地区の接続率は、

町長 イーフ地区

58・6%、仲泊地区

島袋 25年度から補助制度がありますが、その活用は考えないか。

町長 先進市町村の

情報を収集して実施する方向で考えたい。

島袋 儀間・嘉手苅

地区の下水道施設は、清水、イーフのどちらに接続するか。

津波上下水道課長 平成28年度から工事

を計画している。予算と施工等の面から

イーフ処理センターに決定している。

問 灌漑施設計画は

答 当地区から要望があれば検討する

島袋 字貝志川地区、比屋定地区から灌漑

施設の要望はなかったのか。

町長 県から施設の

整備をしたいとのことでしたが、ダム

ファームポンドの設置等で、負担金が高

くなるということ、地区の方から要望し

ないという経緯がある。

島袋 負担金の問題もあるが、このまま

で良いとの考えか。

真栄平建設課長 県

の方で久米島町の水計画について、再度

全体計画を練ってみてはとの事なので、

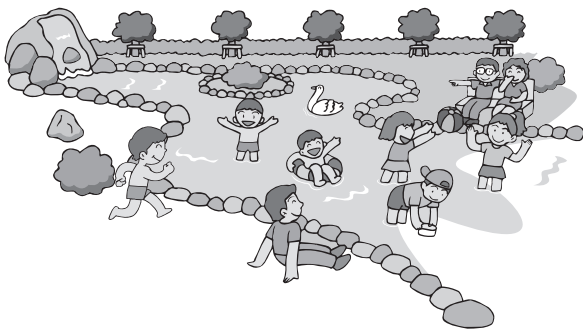
今意見交換をしているところである。

島袋 仲村渠池を

もつと生かす方法は考えないか。

真栄平建設課長 県

や地元と調整、検討していきたい。





宇江原総清 議員

問 コンクリート護岸の撤去を

答 これからの事業は自然回帰型に

宇江原 平成15年1月1日に施行された自然再生推進法の制定趣旨の中に、(1)生物多様性の確保を通じて自然と共生をすすめる。(2)地域主導のボトムアップ型を進める。(3)その対象に河川をはじめ藻場や干潟などの自然環境の保全と維持管理が果たわれている。所管の県に対しても住民側は十分意見が言える。設計の段階から町民は介入すべきだ。町長は1回目町長選挙の時、公約として、(1)時代に逆行するコンクリート護岸をやめ、海岸線を元の砂

浜に戻す。(2)三面張りのコンクリート河川を元の河川に戻しますと、町民と約束した。町長は、初心に戻って実行してもらいたい。

町長 これから事業を始める分について、自然回帰型の工事をする。

宇江原 この塩害というのはコンクリートに高潮等でぶち当たったら3〜4km飛びますよ。何遍も現場に足を運んで実態を見ていただきたい。



コンクリート護岸 (シンリ浜)

問 年1回のがん検診を

答 少しでも異常等があれば国に要請する

宇江原 町長は年1回のがん検診について「実施する考えはない」と答弁した。放射性物質について次の研究結果発表もある。内部被ばくで微量の放射線でも被ばくする。又、DNAを損傷する。生殖に関わる細胞なら代々、子孫の生殖細胞に傷が受け継れ、何代目かの子孫に障害を発生させる。これがペトカウ効果説に導かれた低線量放射線の内部被ばくの実相と言われている。このこと等を認識したうえでのがん検診の否定なのか。

町長 文科省の調査結果、町単独の調査及び町民の健康診断結果など総合的に判断した場合に健康被害は認められないと考える。しかし、劣化ウラン弾は低濃度の放射性物質であっても、放射線物質であることにより、健康状態に少しでも異常値等が認められれば、国に対して要請したい。

宇江原 ぜひその約束は実行してほしい。

問 リース船舶の買い取り予定は

答 買い取り予定は平成26年度

棚原 補助対象金額

26年度船舶の簿価で14億1千8百23万3千円、その中で久米島町及び渡名喜村が8%、検討委員会で数字的な割合の議論はされたか。

仲村渠産業振興課長

沖縄県離島航路確保維持改善協議会久米島分科会で協議もなされ、町村負担分の8%の割合は決めている。

棚原 一括交付金が

使えないか。 **仲村渠産業振興課長** 一括交付金は使えず、過疎・辺地債



棚原哲也 議員



フェリー琉球

の起債によることとなる。

棚原 船舶更新後の

取り組み、民営航路については原則として法人の資産形成は認められていないため黒字が見込まれる場合には旅客、貨物等の運賃の割引等によって利用者へ還元を検討するものとする。とうたわれていて、黒字が見込まれる場合には還元をしてもらうよう意見を

述べるべきだと思いが。

町長 検討委員会で

意見を述べていきたい。

棚原 町は株主に

なっているが株主総会にはほとんど参加されていらない、税金を導入し協力する以上は総会等に直接参加し、意見を述べるべきと思うが。

桃原総務課長 参加

し意見を述べるよう努めたいと思う。

問 防災危機管理体制は

答 地域防災計画にもとづき行う

棚原 災害発生時の避難施設、避難経路の確保、食糧、水、医薬品の確保も十分なされているか。

町長 避難施設の指定は行っており、避難経路等は避難誘導標識、海拔表示及び防災マップを作成しているところ。食糧は8千5百食が妥当だとされており、7千食を準備してある。賞味期限5年というところで継ぎ足していくということを考えている。水は確保に向けて計画を立てているところ、医薬品の確保は現在

行っていないが県と相談しながらクリアできるのかなと思っ

棚原 事業者施設や

資機材使用等に係る協定締結等実効性のある防災、減災体制を整える必要があると思うが。

町長 資機材について

は協定書を締結しており、避難ビル指定は検討しているところである。



防災倉庫

問 県議会選挙区変更の進捗状況は

答 久米島が中心となり積極的に取り組む

町長 各首長と意見交換しているが、関心を示してくれない、県議との意見交換では可能性はあるので、各首長との意見交換の場を多く設け積極的に進める。

玉城 前議会で質問した際、公職選挙法の例外規定、南部周辺離島は経済圏、教育行政等、那覇市と密接な関係であり、那覇市区への変更は可能性があると答弁し、引き続き周辺離島の首長と意見交換するとしているがその後は。

玉城 可能性があるのに進展しないのはなぜか、他の首長のみなさんは必要性を感じてないのか、掘り下げて議論はしたか。

町長 小さい離島については関心がないといえる、連名をお願いした場合、議会も巻き込んでやらなければならぬので、難色を示している。久米島が中心になってできるところだけ一緒にあって、議長に要請し、県議会の中で議決すればできるといふことなので、そこまでは持ってきてみたい。

玉城 あるアンケートで子供の病気の時あずかつてほしいが多く、高いニーズが伺えるが本町でアンケートを取り、現状

町長 核家族化が進んでいることや、近くに子供を見てくれる親族がない状況の中で、ニーズは増してくると思われる子育て課題の対策として、関係機関と協議し検討する。

玉城 男女共同参画社会の今、子供が病気や回復期に対応する病児保育、病後児保育について町はどのような認識を持っているか。

山城福祉課長 アンケート調査はしていないが声としては聞こえる、職場によっては年休がとりにくいか、使用者に気が苦しいが休まざるを得なくて大変な状況が増えると認識している。

玉城 設置する場合、現行の制度では運営自体が成り立たない、地域での支援隊を結成し、病院と連携しながら、地域密着型、非施設方というものもあるが。

を把握したことがあるか。

山城福祉課長 子育て支援法改正の流れに沿って

正しようという動きになっている。支援が強化されてくると思われるので流れを見ながらやっていく。

正しようという動きになっている。支援が強化されてくると思われるので流れを見ながらやっていく。



玉城安雄 議員

問 病児保育、病後児保育の必要性は

答 子育て支援法改正の流れに沿って検討する



仲村昌慧 議員

問 選挙区の見直しは進展しているか

答

意見交換を行って

仲村 昨年の3月定例会で県議会議員の選挙区の見直しについて、町長は「非常に可能性があると思う。引き続き積極的に取り組んでいきたい。」と答弁しているが、その後どのような取り組みをしたか。

町長 引き続き南部の周辺離島の首長及び県議と選挙区の変更について、意見交換を行っている。

仲村 前回の答弁と全く同様で進展していないのではないかと期限を定めて実行せよ。

町長 他の離島町村が困難であれば久米島町だけでも議長連名で、議会議長に上

げていこうと考えている。

問 教育行政の改善を

答

是正に向け要望している

仲村 現在久米島の小・中学校は、那覇教育事務所管轄に所属しているが、行政区が島尻地区であるため教科書は島尻教育事務所管内の教科書を使用している。これは、変則的で不都合であり改善すべきでないか。教育長の見解を伺う。

教育長 教科書が那覇・浦添で使用される教科書と異なり、児童生徒の転校、ま

た教職員の移動研修等において支障があるので、沖縄県教育委員会に是正に向けて要望している。

仲村 どのような是正策を持って県に要請していくのか。

教育長 国の法律の縛りがあり、先行きは全く不透明である。教育上の問題で一番何が良いのかを見極めながら推進していきたい。

仲村 カンジングダム周辺が公園化され、遊歩道等が整備されて数年経過しているが、鍵をかけている状態である。公園を

問 カンジングダム公園を開放せよ

答

開放に向けて調整する



カンジングダム公園

開放しない理由は、今後開放する考えはあるか。

町長 生態系の安定を図るには、一定期間開放をしない方が良いとの提言があり開放していない。今後、開放に向けて調整する。

仲村 公園の管理は何処が行うか。

町長 町あるいは、土地改良区の方でやる方向で検討したい。

■ 平成25年8月 ■

- 6日・久米島経済研究会意見交換会に議員出席
- 7日・町村議会議長会正副議長・正副委員長研修会に議長ほか出席
- 8日・JA組合員感謝の集いに議長出席
- 11日・雨乞い祈願に議長ほか議員出席



- 14日・介護保険広域連合定例会に議員出席
- 15日●広報委員会
- 16日・後期高齢者医療保険広域連合定例会に議員出席
- 23日●議員全員協議会

■ 平成25年9月 ■

- 3日・久米島観光の日イベントに議長ほか出席
- 5日●議会運営委員会
- 6日・離島学習支援センター建設会議に議長出席
・町和牛共進会に議員出席
- 10日●9月定例会
- 11日●9月定例会
●決算審査特別委員会
- 12日●決算審査特別委員会
- 13日・町敬老会に議長ほか出席
- 20日・秋の交通安全運動出発式に議長ほか出席
- 25日●9月定例会
●広報委員会
- 28日・ケアプランホーム家福み一家開所式及び祝賀会に議長出席
- 29日・比屋定小・美崎小運動会に議長ほか出席

■ 平成25年10月 ■

- 9日・南部地区市町村議会議長会10月定例総会に議長出席
- 議員定数調査特別委員会
- 12日・久米島高校体育祭に議長出席
- 13日・町民運動会に議長ほか出席
- 16日・南部離島町村長・議会議長連絡協議会臨時会並びに管内離島行政視察（久米島）に議長ほか出席
- 17日・茨城県結城市議会行政視察に議長表敬



- 21日●議会運営委員会
●議員全員協議会
●第7回臨時会
- 27日・久米島マラソンに議長ほか出席
- 28日・南部広域圏市町村組合議会に議員出席
- 29日・町村議会議長会定例総会に議長出席
- 30日・町村議会議員・事務局研修会に議長ほか出席



- 31日・町村議会議長会臨時総会に議長出席

編集後記

■ 大綱曳き復活 ■

久々に、久米島町まつりにおいて、大綱曳きが復活した。私も当日、松明（たいまつ）持ちとして参加しました。

真新しい衣装に着替えると、身の引き締まる思いでした。

町民の皆さんは見学し、実際に綱を曳き、どう感じましたか？

綱を曳く町民の皆さんを見ると、真剣に綱を曳いていた。

今後も綱曳きは、個人として続けてほしい。

広報委員

（翁長）

仲村 昌 慧
崎村 正 明
翁長 学
宇江原 総 清
饒平名 智 弘